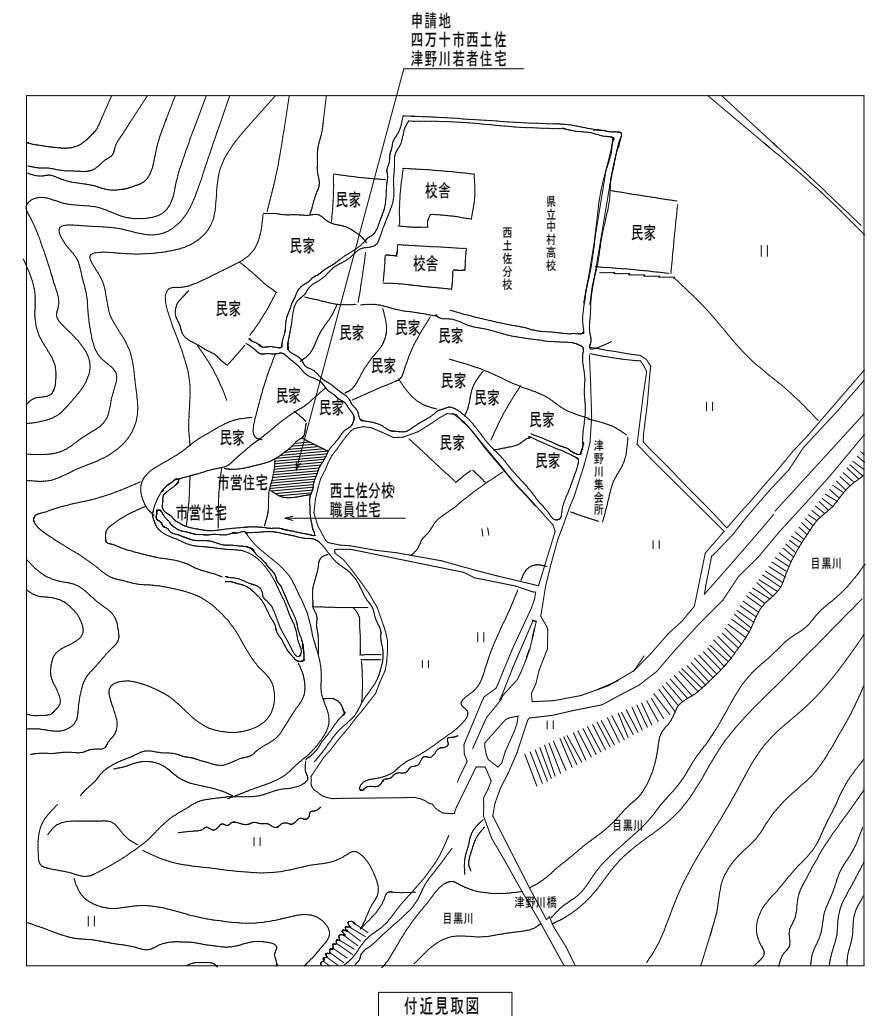


津野川若者住宅（第二）新築工事 （機械設備工事）



番号	図面名称	番号	図面名称	番号	図面名称
1	表紙、付近見取図	8	衛生設備 1階 平面詳細図		
2	機械設備 特記仕様書(1)	9	衛生設備 2階 平面詳細図		
3	機械設備 特記仕様書(2)	10	衛生設備 合併処理浄化槽設備図 1		
4	機械設備 特記仕様書(3)	11	衛生設備 合併処理浄化槽設備図 2		
5	機械設備 特記仕様書(4)	12	空調設備 1階、2階 平面図[先行配管]		
6	衛生設備 配置・屋外配管図	13	換気設備 機器表、1階、2階 平面図		
7	衛生設備 機器器具表、1 階、2階 平面図				

工事名	津野川若者住宅（第二）新築工事（機械設備工事）		設計 年 月 日	益岡建築設計事務所	管理建築士 益岡雅充	図 面 名 表 紙 ・ 図 面 リ ス ト	図 面 No. M - 1
備考			完成 年 月 日		事務所登録 第1245号 一級建築士 第237193号		
					住所 高知県四万十市小西ノ川165番地5号 TEL 0880-31-8522 FAX 0880-31-8666	担当者 益岡 雅充	縮 尺 -

特 記 仕 様 書 (1)

工事名称		津野川若者住宅(第二)新築工事(機械設備工事)	
設計年度(設計図)		令和8年度	
工事期間(完成図)		令和 年 月 日～令和 年 月 日	
工事場所		高知県四万十市西土佐津野川地内	

棟名		構造		階数		延床面積 (㎡)		用途地域		消防法施行令別表第一の区分	
共同住宅		木造		2		252.72				(16) 項口	
				戸数							
				1							

I 共通事項

種目	項目	特 記 仕 様 (※ 及び ● 印をつけたものを適用する)																																																
一般共通仕様	適用仕様	※ 特記なき事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編 令和4年版)」(改修工事の場合は、「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編 令和4年版)」)及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編 令和4年版)」による。 ※ 官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説・平成8年度版(建設大臣官庁官庁営繕部監修) ※ 国土交通省仕様 (例：外壁の地中部等 水密を要する部分はツバ付鋼管スリーブ等。地中部で水密を要しない部分はVUスリーブ。柱、梁以外の箇所で、開口補強要でスリーブ径200mm以下は紙スリーブでもよい。)																																																
	スリーブ	● 国土交通省仕様 ○ メーカー仕様																																																
	機器類	※ 区画貫通処理の必要な箇所については、箇所に別記設置場所・設置状況が確認できる記録を写真及び図面等で残す。																																																
	区画貫通処理	※ 「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説・平成8年度版」によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修 2014年版)による。																																																
	耐震措置	建物の種別： ○ 特定の施設 ● 一般の施設 地域係数： 1. 0 1) 設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)に、地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。 特記なき場合の設計用標準水平震度は次による。 2) 設計用鉛直地震力は設計水平地震力の1/2とする。																																																
	機器の固定	※ 基礎のアンカーボルト・吊り基礎ボルト・吊り金物及び防振を施す機器類の取付けボルトは、ロックナット又は2重ナットにて固定する。 注) ナットに対するボルトの余長は3山以上を標準とする。 ※ 機器の固定に使用する金具系アンカーはスリーブ打込み式または、ウエッジ式とする。(県標準図16) ※ ケミカルアンカーは、天井方向に使用しない。 ※ 防振架台を設置する場合、耐震ストッパーの調整を製造者の指定どおりに行うこと。																																																
	配管の支持	※ 一般土間コンクリート下部配管は耐蝕性のある吊りボルト(亜鉛ドブ漬又はステンレス製)にてスラブ筋に支持する。 ※ 屋外及びビット内配管の支持金物・吊り金物は亜鉛ドブ漬又はSUS製とする。屋内外露出部には既製品支持架台は使用しない。 ※ 仕様のとおりにより配管等を施工しても、他の資材配管等と干渉する場合は振れ止めを適宜設ける。																																																
	ねじ接合材	ねじ接合材使用区分表 <table><tr><th>流体種別</th><th colspan="3">給水</th><th colspan="3">給湯</th><th colspan="4">冷温水</th></tr><tr><th>管材等種別</th><th>ステンレス管</th><th>ライニング管</th><th>水栓金具</th><th>弁類</th><th>ステンレス管</th><th>ライニング管</th><th>弁類</th><th>ステンレス管</th><th>ライニング管</th><th>鋼管</th><th>弁類</th></tr><tr><td>テープシール材</td><td>(イ)</td><td>(イ)</td><td></td><td></td><td>(イ)</td><td>(イ)</td><td></td><td>(イ)</td><td>(イ)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>ペーストシール剤</td><td>(ロ)</td><td>(ハ)</td><td></td><td>(ロ)</td><td>(ロ)</td><td>(ハ)</td><td>(ロ)</td><td>(ロ)</td><td>(ハ)</td><td>(ハ)</td><td>(ロ)</td></tr></table>		流体種別	給水			給湯			冷温水				管材等種別	ステンレス管	ライニング管	水栓金具	弁類	ステンレス管	ライニング管	弁類	ステンレス管	ライニング管	鋼管	弁類	テープシール材	(イ)	(イ)			(イ)	(イ)		(イ)	(イ)			ペーストシール剤	(ロ)	(ハ)		(ロ)	(ロ)	(ハ)	(ロ)	(ロ)	(ハ)	(ハ)	(ロ)
	流体種別	給水			給湯			冷温水																																										
	管材等種別	ステンレス管	ライニング管	水栓金具	弁類	ステンレス管	ライニング管	弁類	ステンレス管	ライニング管	鋼管	弁類																																						
	テープシール材	(イ)	(イ)			(イ)	(イ)		(イ)	(イ)																																								
	ペーストシール剤	(ロ)	(ハ)		(ロ)	(ロ)	(ハ)	(ロ)	(ロ)	(ハ)	(ハ)	(ロ)																																						
	(テープシール材)	※ (イ) テープシール材は、JIS K 6885(シール用四ふっ化エチレン樹脂未焼成テープ(生テープ))によるものとする。 注) 水栓類は、防食シール材を用いない。テープシール材を使用する。																																																
	(ペーストシール剤)	※ (ロ) 一般用ペーストシール剤は、管内の流体に溶出せず、使用目的に適する成分のものとする。 ※ (ハ) 給用水、給湯用及び冷温水用の防食用ペーストシール剤は、JWWA K 161(水道用ライニング鋼管用液状シール剤)に規定する水道用シール剤とする。 注) 水道用シール剤において JWWA K 161 に適合している主なペーストシール剤は下記による。 ステンレス鋼管等防食の必要がないネジ部には水道用シール剤(ロ) (例：日本ヘルメチックス株式会社のヘルメシール 403・株式会社ヘルメチックのHERMETIC F-119・山王工業株式会社のヘルメチック No0A9など) ライニング鋼管に使用する防食用ペーストシール剤(ハ) (例：日本ヘルメチックス株式会社のヘルメシール55・88・403・株式会社ヘルメチックのHT-Seal F-109・山王工業株式会社のヘルメチックNA0-9など)																																																
	弁類	※ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は呼び径50以下は青銅製、呼び径65以上はステンレス製とする。																																																
	サヤ管工法	※ サヤ管工法で施工する場合、サヤ管施工後に配管挿入を行うこと。(同時施工を行わない。)																																																
	埋設深さ(管上)	● 一般敷地300mm以上 ● 車道通路600mm以上 ○ 公道1,000mm以上 ○ 公道1,200mm以上。																																																
	埋設管の保護	● 埋設管は周囲100mm程度に保護砂を入れる。ただし排水管は別記による。 ○ 量水器以降の埋設給水管はクイックチューブ等で巻く。																																																
	建設発生土の処理	※ 構外搬出 処理場所 (株)リサイクルヤマト 所在地 高知県四万十市西土佐江川崎960番地1 距離 (9.9) km その他 建設発生土の搬出先は上記を予定している。搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とする。																																																
石綿含有品	○ 構内指定場所に敷き均し ○ 構内指定場所に堆積 ※ 石綿含有分析調査 ○ 本工事 ○ 別途 ● 無し アスベスト含有品(ガasket、パッキン、たわみ継手、保温材、天井材等)は関係法令に従い適切に処理を行う。																																																	
建設副産物	※ アスファルト、アスファルト路盤は原則として再生品を使用する。 ※ 浄化槽・樹根の砂利地業は原則として再生クラッシュランを使用する。(アスファルト再生品混じりは不可) ※ 本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。																																																	
コンクリート工事/骨材	※ はつり、開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査器により探査し、鉄筋・配管類の位置出しを行う。 なお、『コア抜き・はつり工事チェックリスト』を作成し段階確認を行って施工する。																																																	
はつり・非破壊検査	※ 下記項目の総合調整を行い、測定表を監督職員に提出する。(測定場所等は監督職員の指示による。) ● 風量調整 ● 水量調整 ● 室内外空気の温湿度の測定 ● 騒音の測定 ● 室内気流及びじんあいの測定																																																	
総合調整	○ 配管施工(配管工事) ○ 熱絶縁施工(保温工事) ○ 建築架金施工(ダクト製作及び取付) ○ 冷凍空調調和機器施工 ○ その他 完成図 ※ CADデータをCD-Rに保存して提出。 ※ 画像データ(PDF形式) ※ A4版黒表紙金文字製本 1部 ※ 2ツ折りA3版製本 1部 施工図 ● CADデータをCD-Rに保存して提出。 ● 騒音データ(PDF形式) ● 2ツ折り製本(サイズは原因による)																																																	
技能士の適用	工事管理資料(写し) ※ フラットファイル等に閉じたもの。 工事写真 ※ フラットファイル等に閉じたもの。 工事日誌 ※ フラットファイル等に閉じたもの。 工具類 ● マンホールフック ○ 制水弁ハンドル ● 掃除口ハンドル																																																	
完成後の提出物	○																																																	

● 室内空気汚染 (揮発性有機化合物対策)	対象建築材料等	使用制限
	① 合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、ユリア樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、保温材、仕上げ塗材	F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。
	② 塗料	ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性形のものとする。
	③ 木材保存剤(防蟻処理、防蟻処理等)	クロルピリホリス、ダイアジノン、フェノブカルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防蟻・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。
	④ 内装用接着剤、木工用接着剤、配管用接着剤、接合剤	1) ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していないものとする。 2) フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性剤を使用しているものとする。
	⑤ 家具、書架、実験台、什器、洗面化粧台、流し台	①、②、③、④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆又は同等品を使用する。

室内に関わる材料(上記②～④及び建具、シール材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む)については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシル、クロルピリホリス、ダイアジノン、フェノブカルブの有無や成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。

益岡建築設計事務所 住所 高知県四万十市小西ノ川165番地5号 TEL 0880-31-8522 FAX 0880-31-8666	管理建築士 益岡雅充 事務所登録 第1245号 一級建築士 第237193号	津野川若者住宅(第二)新築工事(機械設備工事)	図面 No
			M - 2

特 記 仕 様 書 （ 2 ）

Ⅱ 工事種目		
●衛生器具設備	取付位置	※ 衛生器具及び周辺機器類の取付位置は総合図・展開図等を作成して、確認後に取付けること。 （特に、便器類と手すり・便器類と操作ボタン類・操作ボタン類と手すり等の位置関係に注意）
	大便器	※ 和風大便器下面でコンクリートに接する部分はアスファルト塗布（3mm以上）とする。（標準図1）
●給水設備	化粧鏡	※ 和風大便器を防火区画に設置する場合、和風便器用耐火カバーを設ける。
	流量調整	※ 化粧鏡取付にあたっては落下破損防止のため、表面シール材等による張付にて取付などの処置を施す。
●排水設備	洗濯機パン	※ 小便器・大便器等の手動フラッシュ弁流量調整は、下記の流出時間を目安とする。ただし、衛生器具のマニュアル等に記載があれば内容に準ずる。
	シール（コーキング）	※ 小便器 8～10秒 小便器 8～10秒 自閉式水栓 7秒 ※ 洗濯機パンを設置する床面は、耐荷重性と平滑性に注意する。 ● 器具類と壁・床のシール（コーキング）打ちは右記の表による。
●給湯設備	負担金	● 不要 ○ 要（ ） ※ 直圧給水弁は水道事業者の指定品（指定のない場合は、二次側給水に準じた弁）
	弁類	※ 二次側給水弁（土中）：40A以下は青銅製で蝶ハンドル付き止水栓、50A以上はソフトシール制水弁（内面ライニング）
●給湯設備	継手類	※ 二次側給水弁（一般）：40A以下は管端防食ねじ込み形青銅弁5K、50A以上は鑄鉄製F付き内面ライニング弁5K
	バルブボックス	※ 水栓エルボ、水栓ソケットは器具側砲金内ねじ形とする。
●給湯設備	隠蔽部の保温	※ ユニットバス付属の水栓エルボへの接続は砲金継手等を使用し、管端の防錆をする。
	既設給水銅管への接続	※ ビニル管とライニング銅管の接続には水栓エルボ・水栓ソケットは使用しない。
●給湯設備	水槽類の施工手順	※ T Sバルブソケットは金属製（砲金）おすネジを打込しているものを使用する。
	水槽類の衛生管理	※ 水道事業者の指定がない場合の埋設弁のボックスは、標準図5・6による。
●給湯設備	引渡前の水質の管理	※ 給水管の細部保温は特記なき場合は下記の通りとする。壁中等で仕様書通りの施工が困難な場合は監督職員の指示により保温を施す。 空間の有る壁中配管 → 要 流し下の空間配管 → 要
	引渡前の水質の管理	※ 改修工事等で銅管類（ライニング銅管）を切断して、やむを得ずメカニカル継手を使用する場合には、銅管類の切断部の防錆処理として、JWWA135規格適合品（エポキシ系DEVCON SF等パイプライニング用）にて処置する。ただし、コア一体型管端防食タイプソケットRC-LA型（メカニカル）を使用する場合処理不要とする。）
●給湯設備	排水管の防露	※ 水位設定の協議後に、水位高さ入り施工図を作成し発注・施工を行う。なお、標準図4を参考とし水位高さを協議する。
	排水管の試験等	※ 受水槽・高架水槽を新設（改修等含む）施工する場合は、清掃・消毒等後に水張りを行う。
●給湯設備	その他	● 残留塩素濃度の測定を行う。（端末において0.2mg/L以上検出されるまで消毒を行う。） ○ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく水質検査（11項目）について行うこと。採水場所は指定の箇所で（1ヶ所）とする。
●給湯設備	排水管の防露	● 第1樹以降の屋外ビニル管部分には、保護砂（180度台）を要す。
	排水管の試験等	○ 遠心力鉄筋コンクリート管部分には砂利台を要す。
●給湯設備	その他	※ 防護蓋を設置する場合は標準図7による。
	その他	● 洗面器等の排水金具と専用の排水アダプタでビニル管に接続できない場合、VCパッキンを使用する。
●給湯設備	排水管の防露	※ 既製流しの排水金具に使用しているジャバラホースはそのまま使用せず、VP配管直結（VCパッキンでも可）とする。県標準図5による。
	排水管の試験等	● 雨水立管の下部受部は差込継手を使用する。（但し平屋建は不要とする。）
●給湯設備	排水管の試験等	※ 空間のある壁中配管・集合住宅等のスラブ上配管・受水槽他水槽からドレンバルブまで一必要 流し台下空間配管・実験台等への立ち上り露出配管一不要
	その他	○ 満水試験 ● 通水試験 ● 鏡確認
●給湯設備	排水管の試験等	※ 洗濯機排水金物の床貫通部等は共仕区画に適合する処理を施す。
	その他	○ 排水ガス監視装置を要す。 ○ ばい煙濃度測定口を要す。
●給湯設備	排水管の試験等	○ 消火栓箱は（○ 標準図12 ○ 国土交通省仕様 ○ メーカー仕様）
	その他	○ 共仕区画の消防検査受検必要
●給湯設備	排水管の試験等	● 消火器（ABC10型）
●給湯設備	排水管の試験等	● 40A以下は青銅弁5K、50A以上は一般配管用ステンレス銅弁10K
	排水管の試験等	※ 銅管及びステンレス配管は支持金物との絶縁処理を行う。
●給湯設備	排水管の試験等	※ 銅板製ボイラー及び銅管との接続等、異種管との接続には絶縁継手を使用する。
	排水管の試験等	※ 給湯配管に簡易保温筒（クイックチューブ）を使用する場合は耐熱性のものを使用する。
●給湯設備	排水管の試験等	※ 被覆銅管の継手カバーは保温付きのものを使用する。
	排水管の試験等	※ 給湯器の配管化粧カバー内は凍結破損防止を考慮した保温（簡易保温筒）施工を行う。
●給湯設備	排水管の試験等	○ 排水ガス監視装置を要す。 ○ ばい煙濃度測定口を要す。
	排水管の試験等	○ 排水ガス監視装置を要す。 ○ ばい煙濃度測定口を要す。
●給湯設備	排水管の試験等	※ ガス集合装置は標準図9・10・11を参照し、漏洩検知装置・耐震遮断装置・転倒防止金具等の必要有無に注意する。
	排水管の試験等	※ スプリングチャッキ内蔵ボール弁を使用する。
●給湯設備	排水管の試験等	※ ガス用フレキシ管とガスコック等（ヒューズコック）との接続は、コック等の固定が出来る部材等を使用して接続する。
	排水管の試験等	※ ゴムホース接続なきコックはゴムキャップを付ける。
●給湯設備	排水管の試験等	※ ボンベ支持クサリ用のアンカーボルトは、10mm以上のもので、下記のいずれかとする。
	排水管の試験等	※ 埋込アンカー・雄ネジ形メカニカルアンカー・接着系アンカー（ケミカルアンカー）なお、チェーン、フックも同様の強度を持つものとする。
●給湯設備	排水管の試験等	※ 自記記録計によるガス圧テスト表の写しを県に提出し、正本は施工業者で5年間保存する。
	排水管の試験等	※ 使用開始時には必要に応じて種汚泥を投入する。
●給湯設備	排水管の試験等	※ 浄化槽の使用開始後おおむね3ヶ月間の試運転調整を行うもので、浄化槽法による「保守点検及び清掃等」を行うほか下記の事項を言う。
	排水管の試験等	1 維持管理を管理業者に引継ぐ場合は直前に水質検査（BOD、SS、PH、大腸菌、塩素イオン）を行い、そのコピーを維持管理業者、施設管理工事監督者に渡し、設計・施工・現況の注意事項を申し送ること。
●給湯設備	排水管の試験等	※ 見やすい場所に型式、施工者名、設置年月、処理能力、放流水質を記入した銘板を設置する。
	排水管の試験等	※ コンクリート頂版スラブを施工する場合、モルタルの浮き上がり、及び、水たまりが出来ないように仕上げ勾配に注意する。
●給湯設備	排水管の試験等	○ 補助金申請設備
	排水管の試験等	○ 補助金申請設備

●空気調和・換気設備	空調機器の仕様	※ グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成十二年法律第百号））の判断基準適合品とする。 なお、パッケージ及びマルチエアコン等については、各メーカーの最高効率機種とする。 ○ 屋外機はJRA耐重塩害仕様とする。 ○ 屋外機は耐塩害仕様とする。
	パッケージエアコン等	※ パッケージエアコン屋内機の施工については標準図13を参考にして注意する。 ○ 天カセ形室内機の取付等による天井の開口及び補強・補修を行う。（建築工事標準詳細図参照） 1）補強野縁は野縁と、補強野縁受及び取付け用補強材は野縁受と同材とする。 2）野縁受のはね出しが300mm以上の場合は、増し吊り进行を設ける。 ※ 室外機には設置場所を問わず、溶融亜鉛メッキ製またはSUS製の転倒防止金具もしくは転倒防止ワイヤーを設ける。 ○ 不要 ○ 要（ ）ヶ所 自動空気抜き弁にはGV及びストレーナーを取付ける。 ※ 配管ラッキング（溶融アルミニウム－亜鉛鉄板・配管化粧カバー）は室外機の直近まで施す。 ※ 配管樹脂化粧カバー（スリムダクト）も室外機の直近まで施す。なお、屋外スリムダクト最終部は閉塞処理を行う。（コーキング処理、またはゴッドキャップ処理） （フリーコーナー（ジャバラ）は使用しない。） ○ アルミフレキ（不燃材料認定品） ○ ステンレスフレキ（不燃材料認定品） ○ ※ 内貼りチャンパの寸法表示は、外法寸法とすること。サブライチャンパにはその上に銅きつ甲金網押えを行う。 ※ 消音材はグラスウール（吹出口チャンパー・吸込口チャンパー・レターンチャンパーは25mm厚、サブライチャンパーは50mm厚）とし、ガラスクロス紙とする。 ※ 排気フードは、SUS430製とする。（1.0mm厚） ※ フィルターは分解掃除が出来るものにする。 ※ 黄銅製コックは20mmのものとする。（キャップ止でもよい） ※ 火器使用機器が確定後にフードの形状寸法を変更して、投影面積が変わる場合はフードの面風速もチェックする。 （参考：フードの面風速は一般的に0.3m/sとして設計している。） ※ 送風機の機器表にファンの番手（#）を明記している場合、小さい番手にしない。 ※ エアコン設置に必要な一次側電源送り以降の、室内外渡り電源線、制御線、アース（CE2sq/4C・CE3.5sq/4C程度）を要す。 ※ リモコン線はEM-AE0.9mm/2C～3C、又はVCTF0.75sq/2C～3Cとする。（但し延長が10m以下のリモコン線は機器付属品でもよい。） ※ 室内外の渡り配線で、冷媒配管と同じルートを施工する場所は同保温外装内に納める。（電源・制御配線の最低離隔距離は機器メーカーの基準ずる。） ※ 表示窓の付いたリモコンの取付場所は視認性の良い高さ（1,300～1500h）照明SWの上を標準とするが、総合図で充分打合せ調整を行う。 ※ 防振ハンガーの設置判断基準は標準図14による。 ※ 震災後の設備機能確保を図る実務的設備耐震対策措置は県標準図15による。 ※ 冷温水発生機、ボイラ及び温風暖房機の盤の始動スイッチの二次側に煤煙濃度計用電源端子を設ける。 ○ 排ガス監視装置を要す。 ○ ばい煙濃度測定口を要す。
●別工事	別途工事	● スリプ、箱入れの補強筋 ○ ガラリ ● 点検口 ○ ● 天井および壁貫通に対する下地補強 ○ プロパンボンベ庫 ○
	給排水設備	● 施工令第129条2の4に適合
●法令	給排水設備	● 施工令第129条2の4に適合
	給排水設備	● 施工令第129条2の4に適合

Ⅲ 材料メーカー表	
材 料	材 料 メ ー カ ー
衛生陶器	TOTO、LIXIL(INAX)、ジャニス工業
水栓金具類	TOTO、LIXIL(INAX)、ジャニス工業、三栄水栓
F R P水槽	三菱、日立、積水 プリヂストンを削除
うず巻ポンプ	荏原、日立、テラル、川本
水中モーターポンプ	荏原、日立、テラル、川本、鶴見
汚水・汚物ポンプ	荏原、日立、テラル、川本、鶴見、新明和
電気温水器	三菱、ユパック、日本電熱、東芝、パナソニック、三菱、日立
厨房機器	日本調理、フジマック、北沢、ホシザキ四国、タニコー、マルゼン
小型銅板ボイラー	巴、昭和、愛知、ネボン、ヒラカワ
F R P膨張タンク	日立化成、三菱樹脂、ホーコス
ルームエアコン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
パッケージエアコン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
冷温水発生機	矢崎、日立、荏原、川重、三菱重工、パナソニック
エアハンドリングユニット	新晃、ダイキン、三菱、昭和、日立、木村、東芝キャリア、三菱重工
送風機	日立、テラル、荏原、パナソニック、谷山、ミツヤ、旭電業
冷却塔	矢崎、日立、荏原シンワ、空研、日本スピンドル
自動制御機器	アズビル、ジョンソンコントロールズ
ローフィルター	日本スピンドル、東洋空気調和、日本エアフィルタ
全熱交換形換気扇	三菱、パナソニック、テラル、東芝、日立、ダイキン
その他	国土交通省仕様適合品

完成後必要な取扱資格者	ボイラ	○ 資格不要 ○ 特別教育修了者（小型ボイラ） ○ 講習修了者 ○ （ ）級ボイラ技士
	危険物	○ 資格不要 ○ 危険物取扱主任者
	冷凍機	○ 資格不要 ○ 第（ ）種冷凍機械作業主任者

		打 合 せ 事 項		確 認 日	
給 水	四万十市西土佐支所	産業建設課	給水引込みについて（本管口径、引込み口径、量水器位置等）	令和 8年 2月 5日	
排 水				令和 年 月 日	
消 防				令和 年 月 日	
浄 化 槽				令和 年 月 日	
ガ ス				令和 年 月 日	
そ の 他				令和 年 月 日	
				令和 年 月 日	

益岡建築設計事務所			管理建築士 益岡雅充		図面No
住所 高知県四万十市小西ノ川165番地5号			事務所登録 第1245号		
TEL 0880-31-8522 FAX 0880-31-8666			一級建築士 第237193号		M - 3
			津野川若者住宅(第二)新築工事(機械設備工事)		

標準図 1

洗面器廻り・インパート樹・和風大便器据付

作図
令和 2年 6月

洗面器、手洗器廻り納まり図
(洗面化粧台も同じ)

照明器具

450 x 600h

1,500 ~ 1,700

H=150

H<150

F.L.

※洗面台の高さは鏡取付位置を建築と調整して、施工すること。
 ※女性利用の鏡の高さは男性利用高さより100mm程度低く取り付ける。
 ※車椅子利用者が想定される場合は(標準図3)を参照する。

和風大便器取付要領図

Y型インパートの切り方

タイル
モルタル
防水シート(1.5mm厚)
防虫網
シンクコンクリート

支えブロック
受込溝継ぎ手(樹脂製・2溝)
モルタル
シンクコンクリート

支えブロック製作要領

土手を高くする

1/3 A 2/3 A

1/3 B 2/3 B

注: 水が配管方向に流れる様にする。
 蓋にも丸みをつける

エ

(イ) 支えブロックはセメントモルタル製とし、必要に応じ鉄筋を入れる。
 (ロ) Hは、仕上り高さに応じ定める。
 (ハ) 支えブロックの形状、寸法は便器に適合したものとす。

標準図 2	大便器廻り納まり図	作図 平成28年 7月
和式トイレ納り図 便器前面より 100以内 300～400 100 100程度 350程度 200～300程度 (200を目標とする) 平面 側面	洋式トイレ納り図 紙巻器が手摺の 下の場合80～90 120以上 350程度 200～300程度 (200を目標とする) 平面 公共トイレ操作系JIS (JIS S 0026) 紙巻器 洗浄ボタン 温水洗浄便座リモコン 非常呼出しボタン 手洗器 レイアウトに注意する 200～300程度 350 (座面の高さから) (参考) 一般的な便器の高さは 約400 (車いす対応便器の高さは約450) 側面	一般課便器

標準図 3

作図
平成28年 6月

※ 車いす対応便器

360程度でも良いが等間隔にする

約230 350 350 2300

750程度 250

可動式手すりの長さは
便器先端と同程度の長さ

可動式脱ね上げ手すり

照明
(照明の位置に注意)

面台の上を30空ける

50 50

面台の高さは低く抑える
約350

800以上
有効幅員

平面

(便器と手すりの主な位置関係)

立面 A 視

(洗面器と手すり等の位置関係)

公共トイレ操作系 JIS
(JIS S 0026)に準ずる
配置計画とする

600 × 900h

150 20以上 100 150

便器先端と同程度の長さ

立面 B 視

(手すりとアクセサリ等の位置関係)

立面 C 視

(便器と手すりの高さ関係)

車椅子座面の
高さと同じ程度

標準図 4

受水槽廻り納まり図

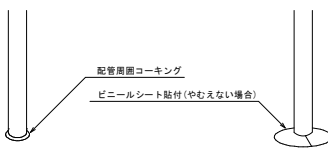
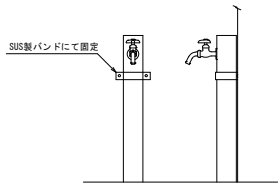
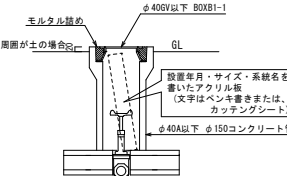
作図
平成30年 6月

(定水位弁電磁弁制御方式 + 自動給水ポンプユニット方式の場合)

電磁水位設定例

配管支持例

※ 耐震用緊急遮断弁を設ける場合は水槽側から支持固定を行うこと。

標準図 5	流し廻り・水栓柱・止水栓ボックス 作図 平成30年 6月
	混合水栓 流しシンクセンターより100mm水切り側へ (デッキタイプの場合、センター)  ※瞬間湯沸器等がある場合は上部の棚、水切パイプ、照明器具、換気扇等に注意して納めること。 流し部分平面図  配管断面コーキング ビニールシート貼付(やむえない場合) 流し下開口補修方法詳細図 (穴があきすぎた場合の補修方法)
 SWS製バンドにて固定 水栓柱の固定方法(後が壁の場合)	 モルタル詰め 周面が土の場合20c φ40φ以下 BOXH-1 GL 設置年月・サイズ・系統名を書いた亚克力板 (文字はペンキ書きまたは、カッティングシート) φ40A以下 φ150コンクリート管 バルブBOX(φ40A以下の場合)

標準図 6

制水弁（仕切弁）ボックス（50～150A）

作図
平成28年 6月

1. 車道用鉄蓋・組立式BOX（T-25）。
2. 鉄蓋は、蓋・受枠カラー表示、水流方向・口径表示、口環付付。
3. 必要により高さ及び路面勾配調整のための専用調整リングを使用する。
4. 管上高さ、弁サイズによりBOX組み合わせを設定する。内径Dは250以上。
5. 下図鉄蓋図柄及びBOX形状は参考。
6. ボックス内には設置年月・サイズ・系統名を明記したアクリルプレートを入れること。
7. ボックス内に入れるプレートにはペンキ書きまたはカッティングシートとすること。
8. 蓋の据付け方向には注意のこと。

鉄蓋コンクリート側の例
（薄竹、ダイヤモンドなど）

ハビット、レジンコンクリート製などの例
（日之出、ダイヤモンドなど）

The image contains four technical drawings of water control valve boxes (仕切弁ボックス) in two columns and two rows.

- Top Left Drawing:** A top-down view of a circular box. It shows a central valve mechanism with a handle. An arrow points upwards from the center. The drawing is labeled "GL" on the left.
- Top Right Drawing:** A top-down view of a circular box, similar to the top-left one but with a different internal structure. It also has an upward-pointing arrow and is labeled "GL" on the left.
- Bottom Left Drawing:** A side view of a box with a height of 600mm. It shows the box sitting on a base with a valve handle extending upwards. The height is indicated by a dimension line on the right labeled "高さ 600H". The drawing is labeled "GL" on the left.
- Bottom Right Drawing:** A side view of a box with a height of 1200mm. It shows the box sitting on a base with a valve handle extending upwards. The height is indicated by a dimension line on the right labeled "高さ 1200H". The drawing is labeled "GL" on the left.

Additional text in the bottom right area:

系統名アクリル板
（文字書きはペンキ
又はカッティングシート貼る）

標準図 7	樹脂製インパート樹（ビニマス）・防護蓋	製作 平成28年 8月
-------	---------------------	----------------

防護蓋の設置高さはアスファルトやコンクリートでは上部すり合わせとするが、土や砂利等の場合は事前に仕上げ高さを確保しておく。

防臭キャップの取付高さは製造者の指定された高さとし、立上りパイプ内部に土などが入りにくく、蓋が閉まる高さとする。
(Mazawa・アロンマス・タキロン)

立上りパイプは水平な切り口とし、バリを除去して防臭パッキンを埋嵌させる。

約15cm

防臭キャップ

防護蓋

砕石 (C20)

700×700×150h程度

立上り管

ビニマスの下流部にV.P配管で接続する時はV.P接続ソケットを使用して、よりの隙なく接続する。

下流側

ビニマス本体

上流側

ビニマスの差し込み部に挿入して、隙間は最小限とする。

ビニマス内に付着した接着剤等は除去する。

※ ビニマス周囲の保護砂は管上100まで埋め戻す。

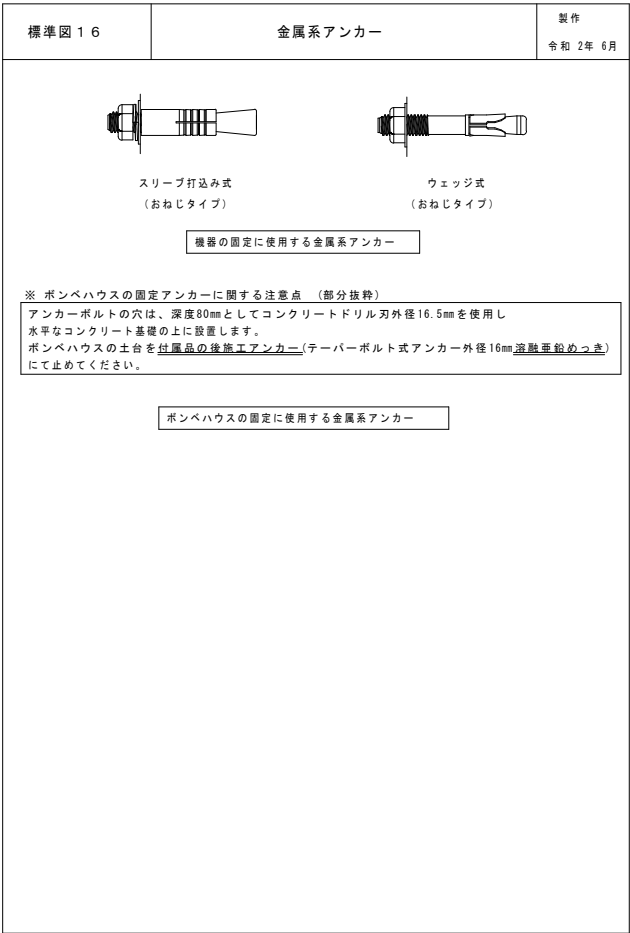
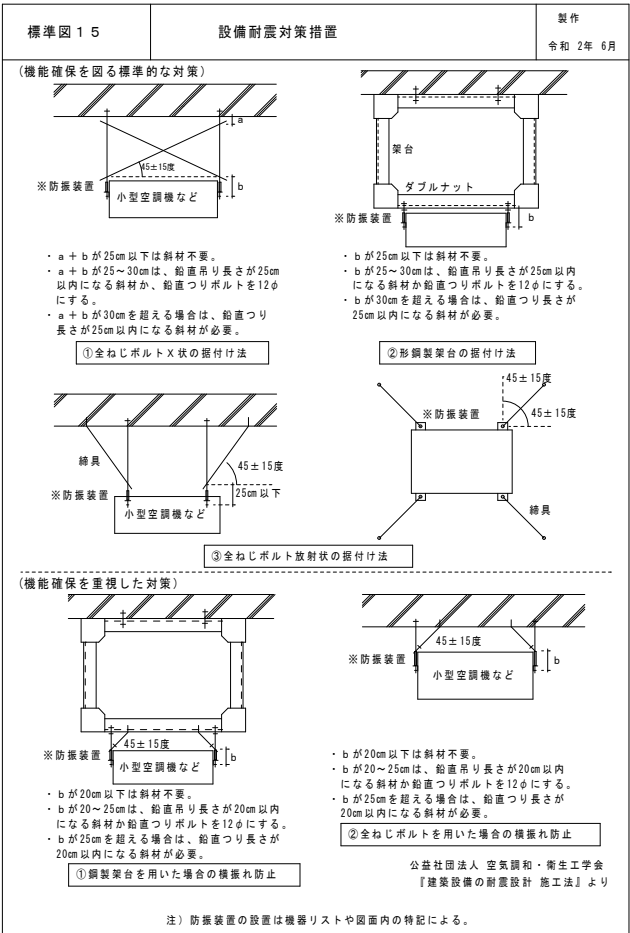
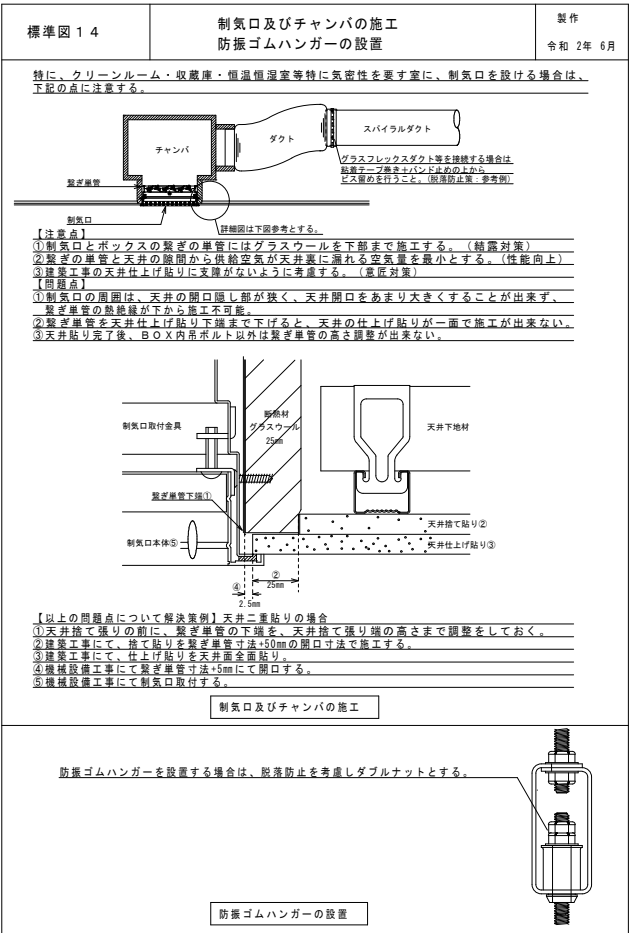
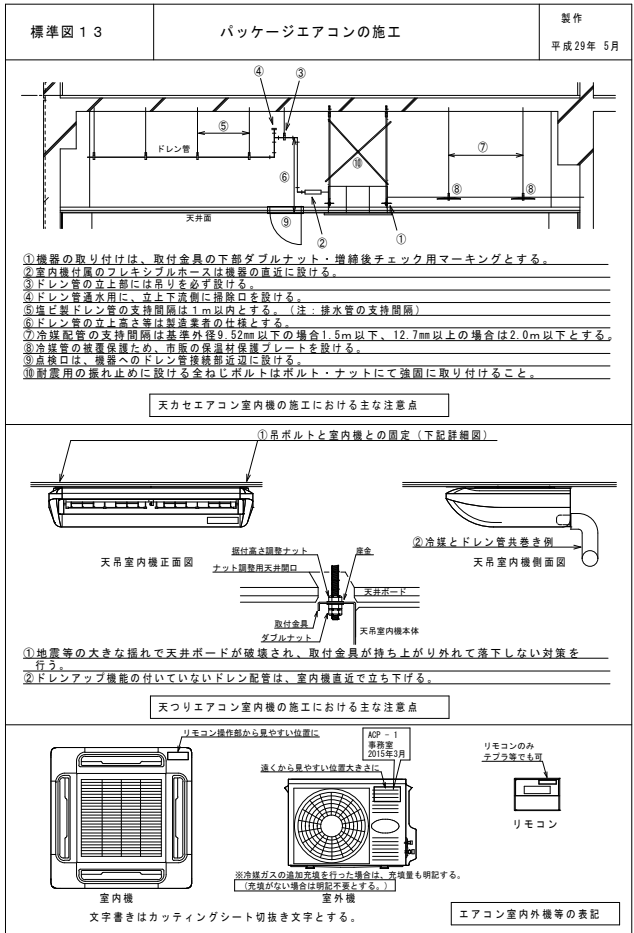
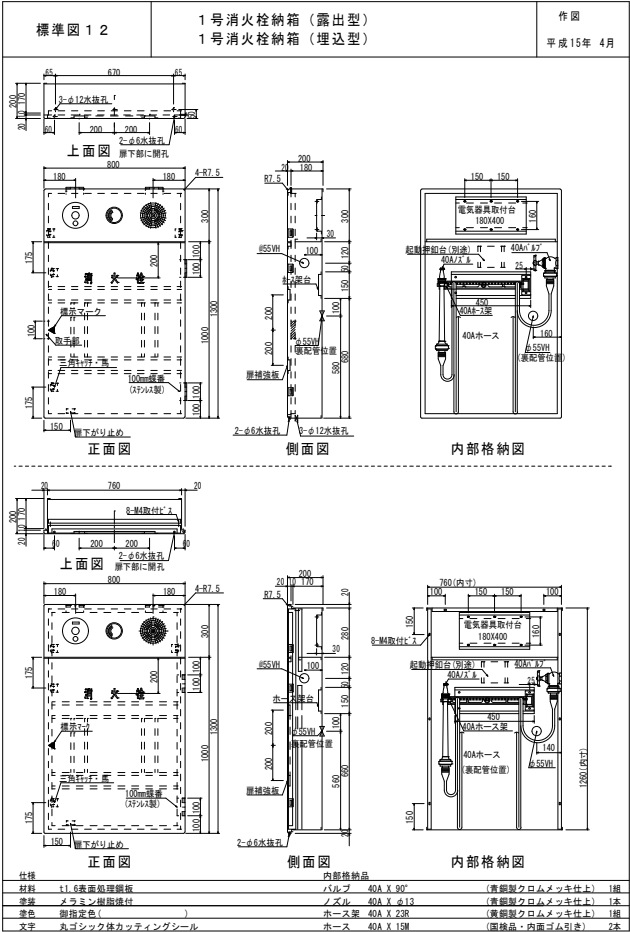
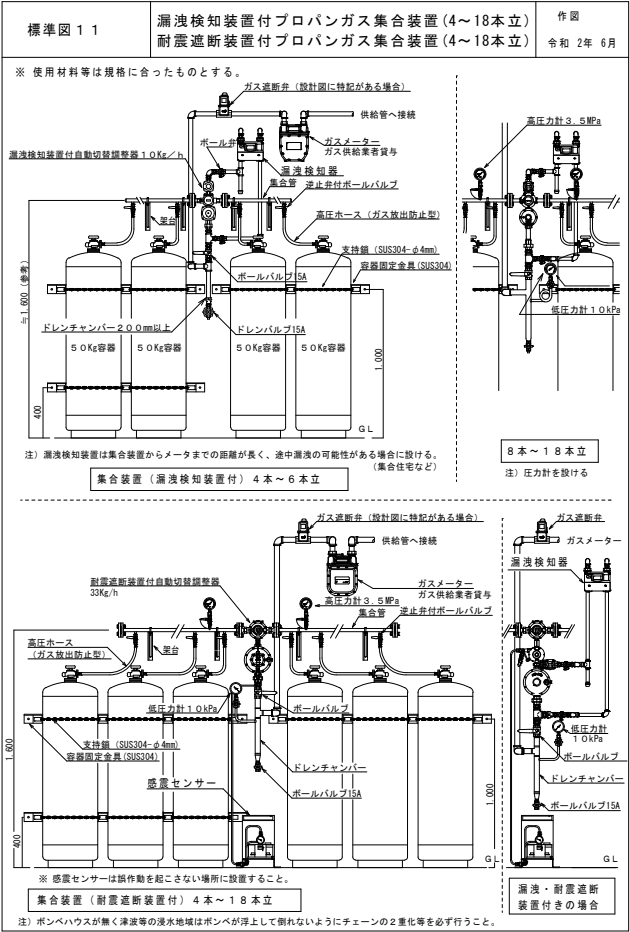
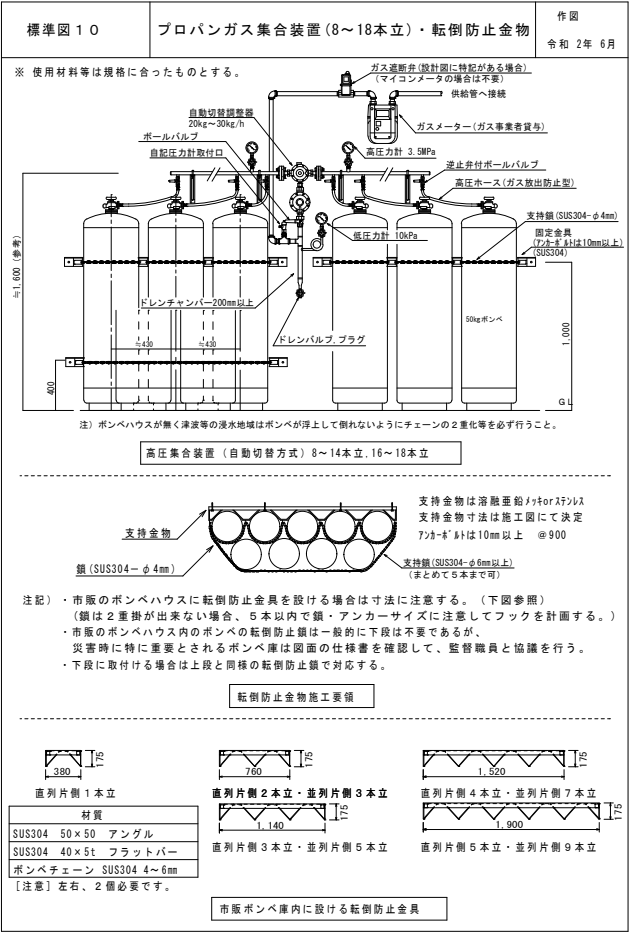
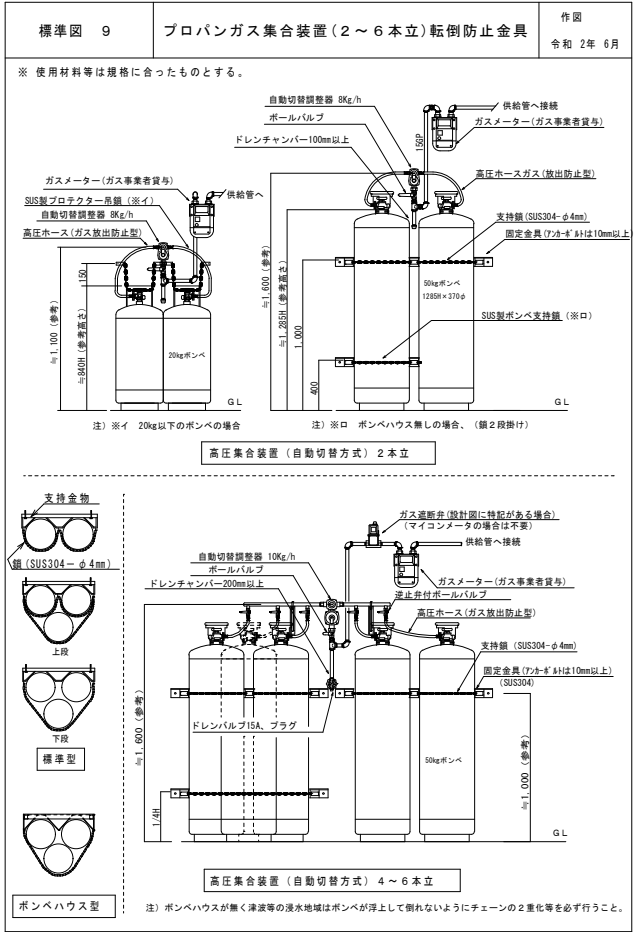
樹脂製インパート樹の施工における主な注意点

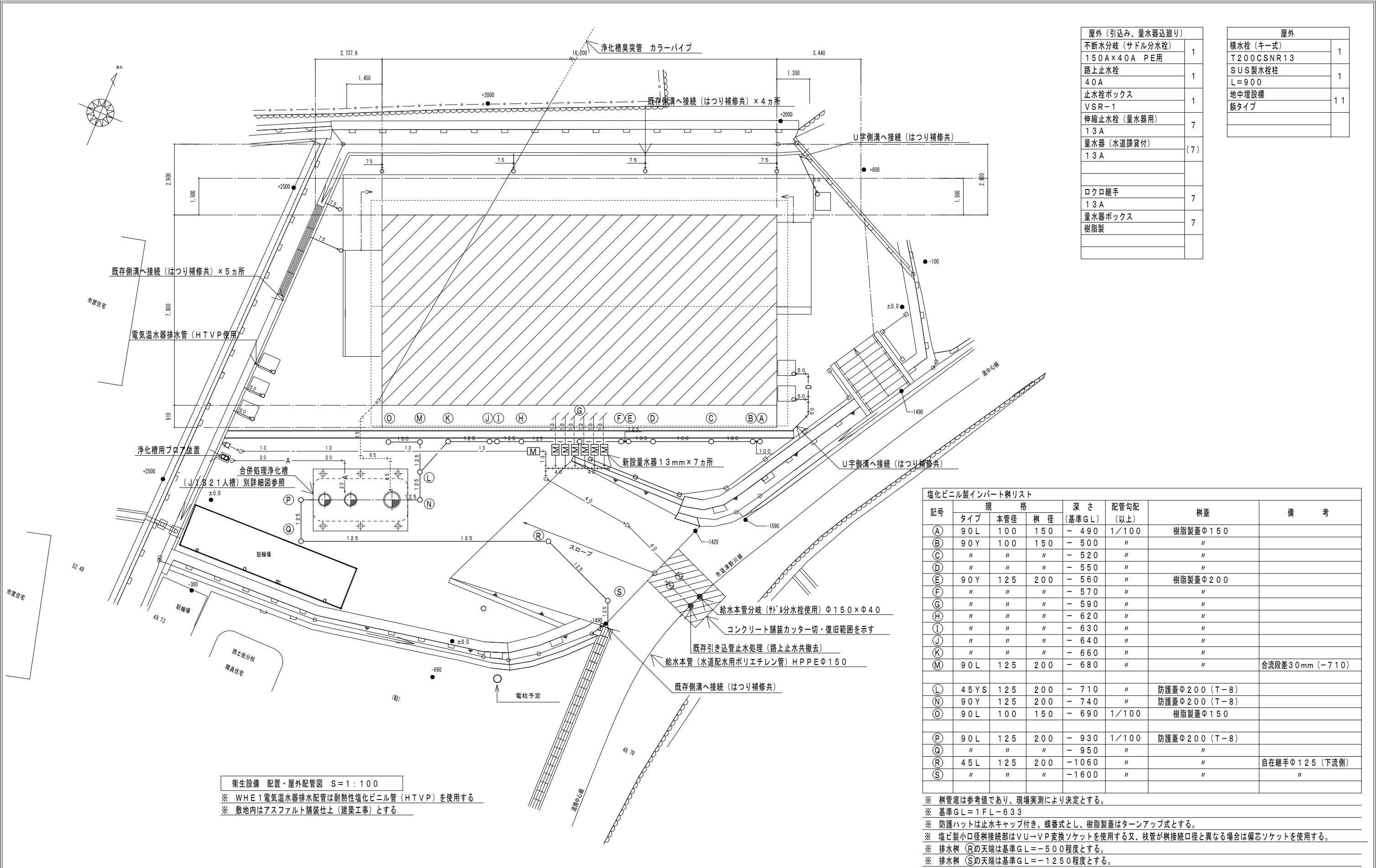
標準図 8	コンクリート標示柱	作図 平成28年 6月
-------	-----------	----------------

A-A断面図

B-B断面図

矢印及び溝部は指定色 (マシタ色)	
給水管	10B 5/10
消火管	7.5R 4/14
ガス管	7.5Y 9/12
オイル管	





工事名	津野川若者住宅（第二）新築工事（機械設備工事）	設計年月日	益岡建築設計事務所	管理建築士 益岡雅充	図面名	衛生設備 配置・屋外配管図	図面No.
備考		変更年月日	住所 高知県四十市小西ノ川165番地5号 TEL 0880-31-8522 FAX 0880-31-8666	事務所登録 第1245号 一級建築士 第237193号			M-6
				担当者 益岡 雅充	縮尺	1:100	

機 器 表				
記号	機器名称	機 器 仕 様	台数	設置場所
WHE 1	電気温水器	時間常別電灯（通電制御型） 屋外設置角形配管内蔵タイプ 標準圧力型 貯湯量370L ヒーター容量4.4kW [最大消費電力4.408kW]（1Φ200V） メインリモコン、減圧弁、逃がし弁、絶縁パイプ、脚部カバー、足固定金具、上部固定金具共 給水 甲型止水栓（クロムメッキ）13A SUS製フレキ13A×300L 給湯 バルブ付水栓アダプター13A SUS製フレキ13A×300L メインリモコンは脱衣室に取付け（位置図示）、配管及びボックス取付は電気設備工事とする。	6	屋外（西側）×3 屋外（東側）×3

※ 電気温水器の性能はJIS C 9219に規定された定格条件及び試験方法による

（S）◎ 消火器 （1階）	
ABC粉末消火器 10型	
歩行距離20m以内に設置する	2
収納ボックス（建築工事）：2個	

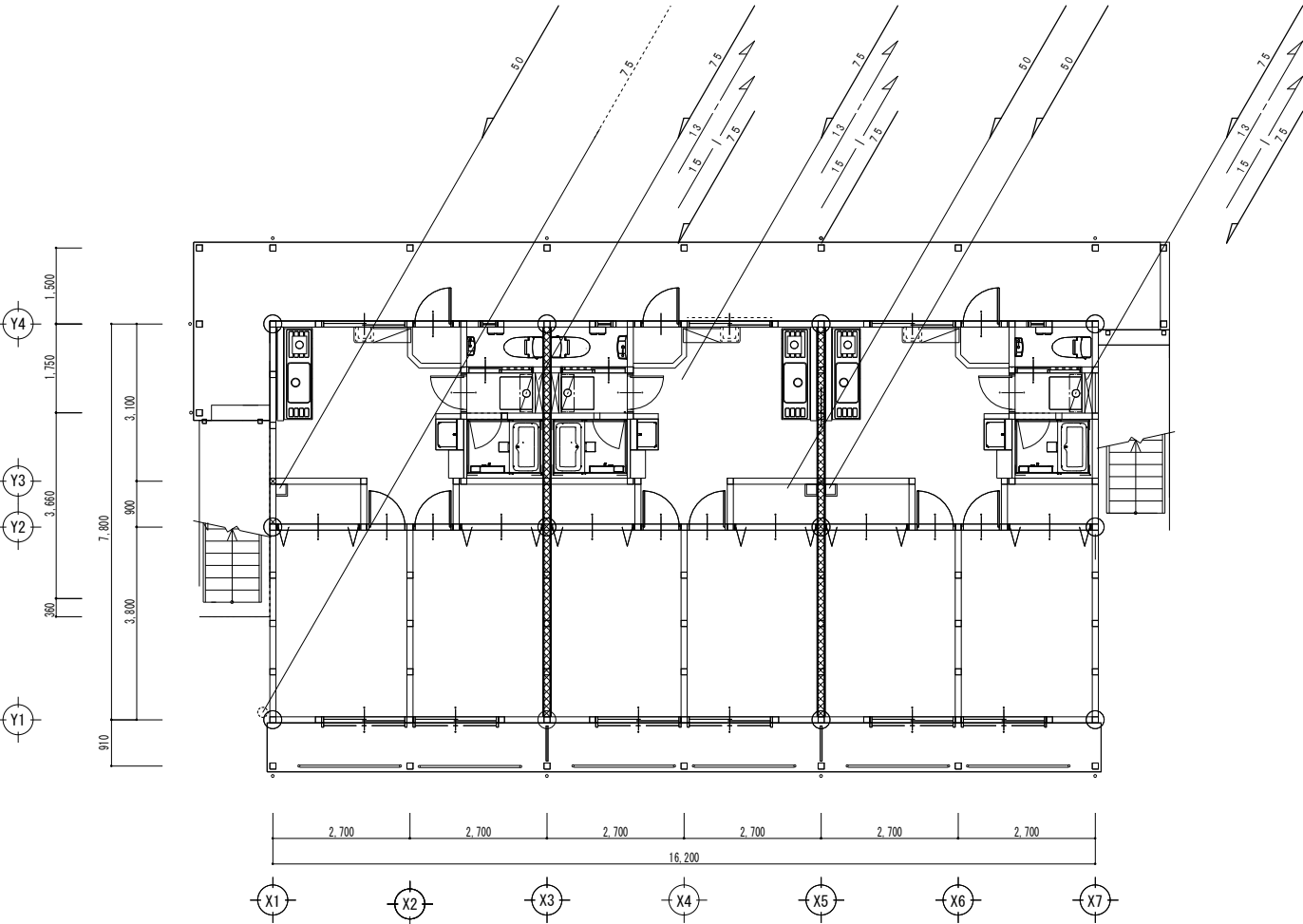
※ 消火器は床面より1.5m以下に設置すること。

※ 消火器設置標示板及びシールは、消防局指導の寸法とする。

（S）◎ 消火器 （2階）	
ABC粉末消火器 10型	
歩行距離20m以内に設置する	2
収納ボックス（建築工事）：2個	

※ 消火器は床面より1.5m以下に設置すること。

※ 消火器設置標示板及びシールは、消防局指導の寸法とする。



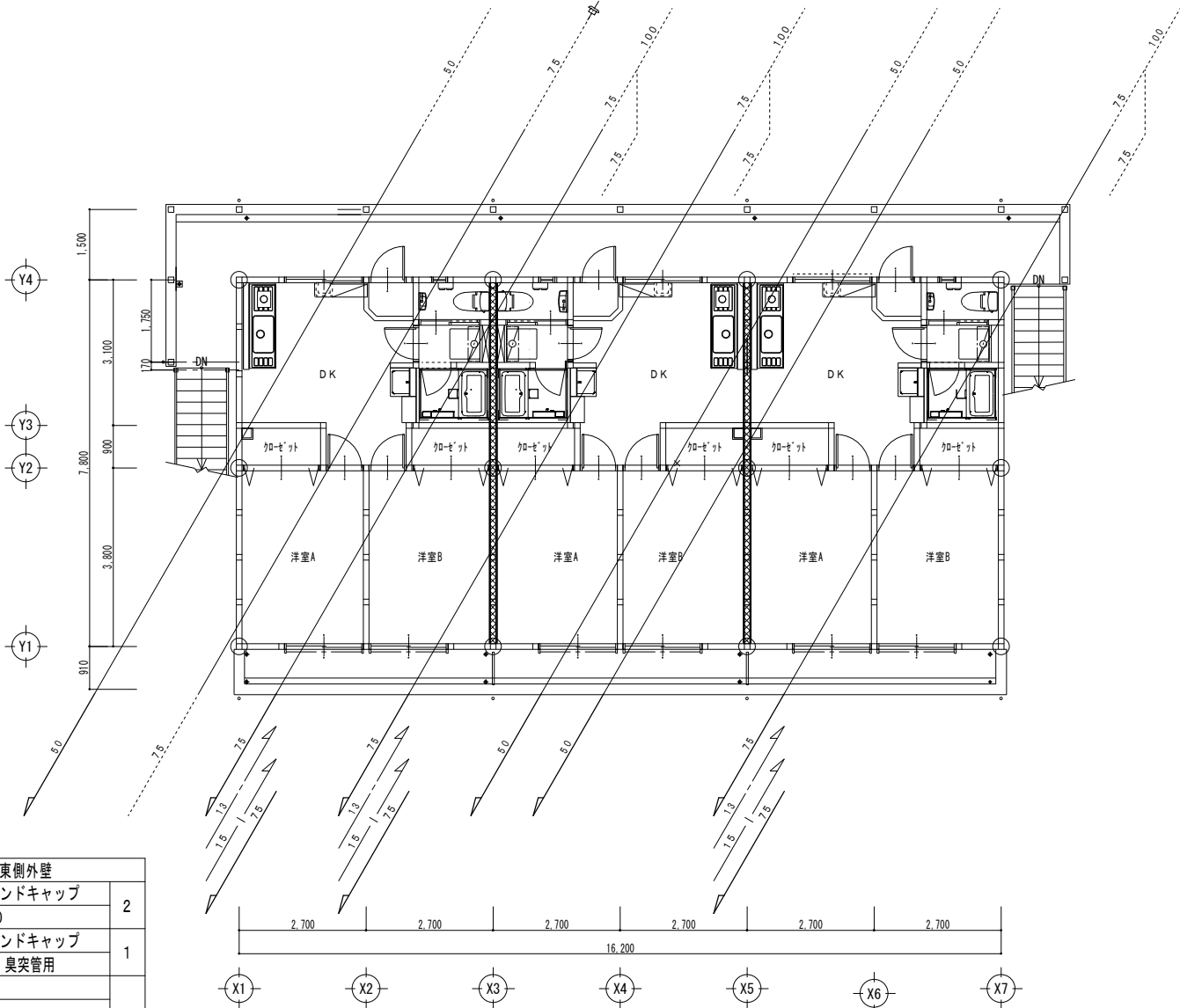
衛生設備 1階平面図 S=1：100

※ 浄化槽臭突配管はカラーパイプ（VP）とする。

※防火区画貫通する 配管排水通気管を除き防火処理（ロックウール保温筒）を行う。

名 称	品 番・記 号	電 源	仕 様 ・ 附 属 品 (TOTO参考 同等品以上)	合 計	住 戸								屋 外	
					1 階				2 階					
					DK	トイレ	洗濯	UB	DK	トイレ	洗濯	UB		
腰掛便器		AC100V	SH232BA, TCF6624, HM220, YH50	6	3				3					
コンパクト手洗器	LSL570BSFR		手動水栓、床給排水、トラップカバー付	6	3				3					
洗面化粧台	建築工事		[給排水・給湯配管接続は本工事]	(6)	3				3					
化粧鏡 (キャビネット付)	建築工事			(6)	3				3					
洗濯機パン	PWSP64J2W		樹脂製縦引トラップ	6		3				3				
シングルレバー混合水栓	TKS05303J		台付 (1穴) タイプ	6	3				3					
洗濯機用水栓	TW11R			6		3				3				
横水栓	T200CSNR13		キー式	1								1		
水栓柱	SUS製		900L ウレタン保温	1								1		
キッチン	建築工事		[排水配管接続は本工事]	(6)	3				3					
ユニットバス	建築工事		1014タイプ [給排水・給湯配管接続は本工事]	(6)			3				3			

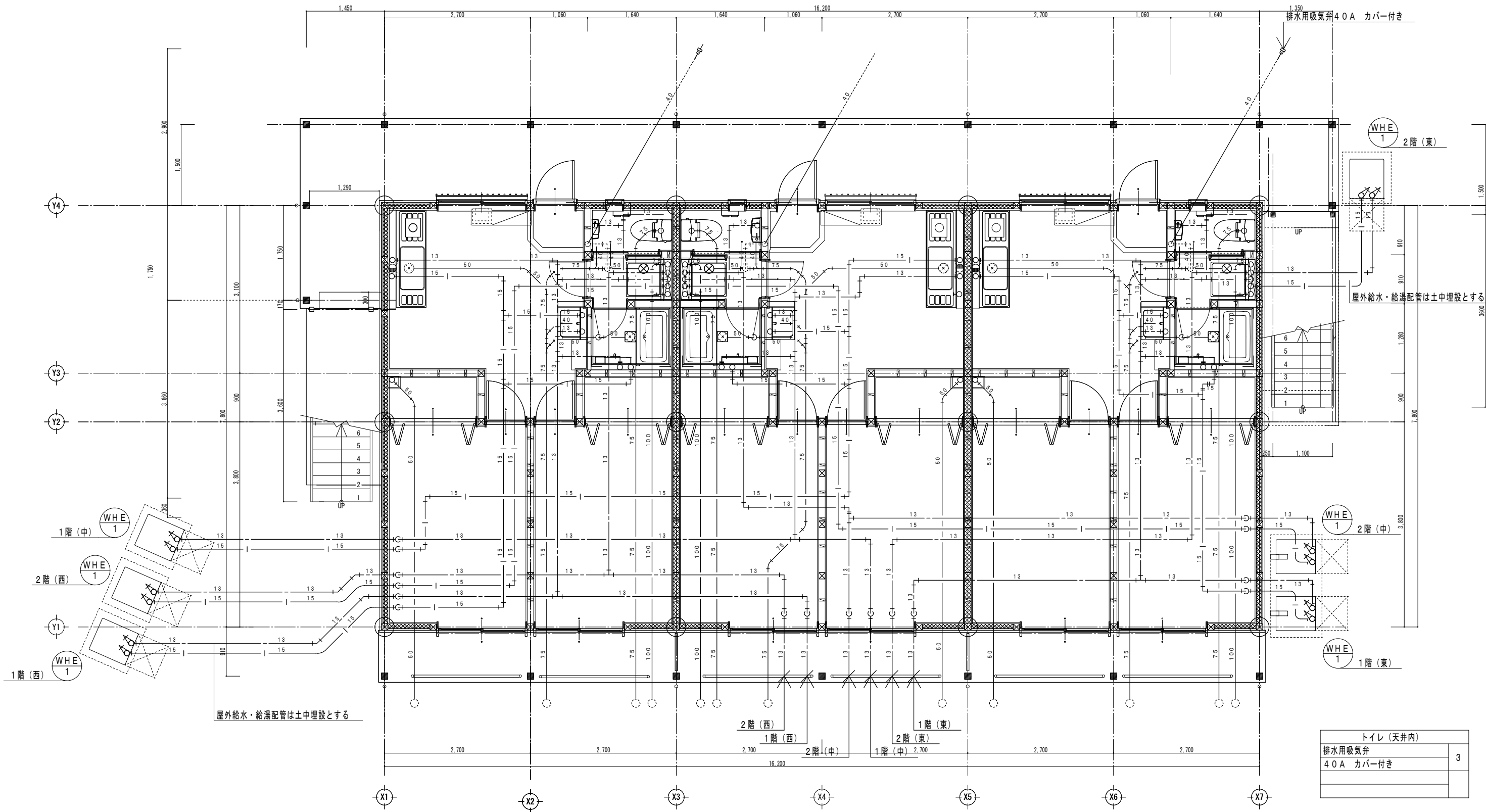
※ 衛生器具類取付下地補強は本工事とする。



衛生設備 2階平面図 S=1：100

※ 浄化槽臭突配管はカラーパイプ（VP）とする。

工事名	津野川若者住宅（第二）新築工事 （機械設備工事）			設計 年 月 日	益岡建築設計事務所	管理建築士 益岡雅充	図 面 名 衛生設備 1階・2階 平面図	図 面 No. M - 7
備考				変更 年 月 日		事務所登録 第1245号 一級建築士 第237193号		
						担当者 益岡 雅充		



※土間、土中給湯配管は架橋ポリエチレン管（発泡保温付樹脂管φ13）としサヤ管（FEP-40）を使用する。
※給湯配管、床下空間での被覆銅管との接続は水栓アダプターφ13を使用する。

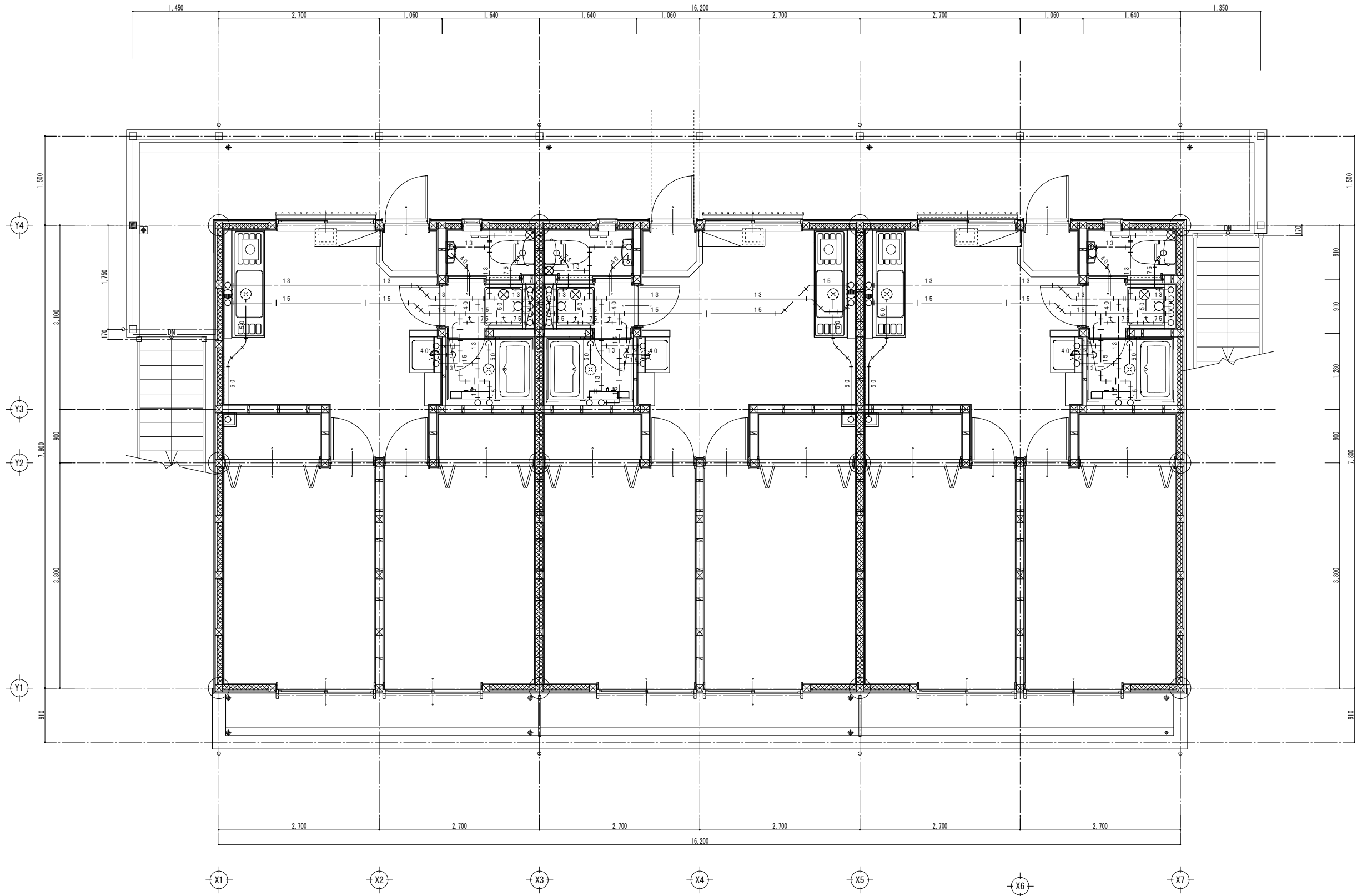
衛生設備 1階 平面詳細図 S=1:50

※屋内1階の給水・給湯配管は土間上露出、排水配管は土間配管とする
※WHE-1廻り給水・給湯配管は土中埋設とする

トイレ（天井内）	
排水用吸気弁 40A カバー付き	3

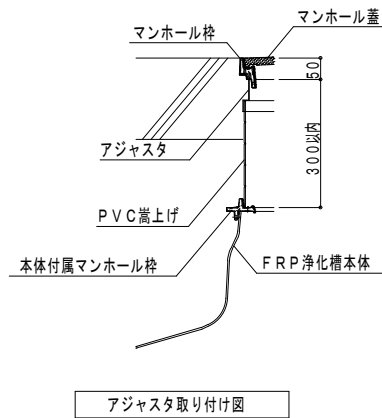
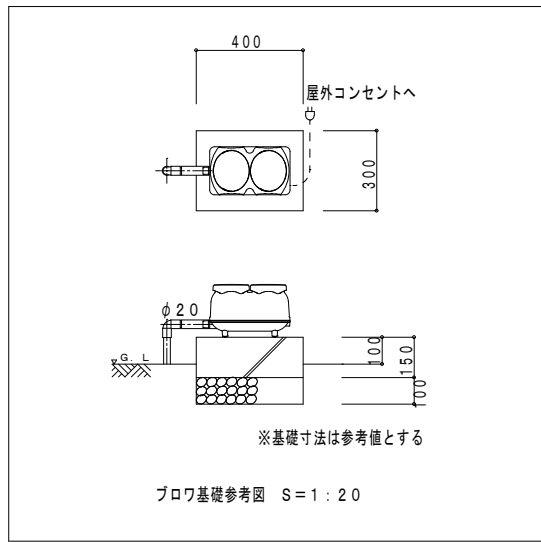
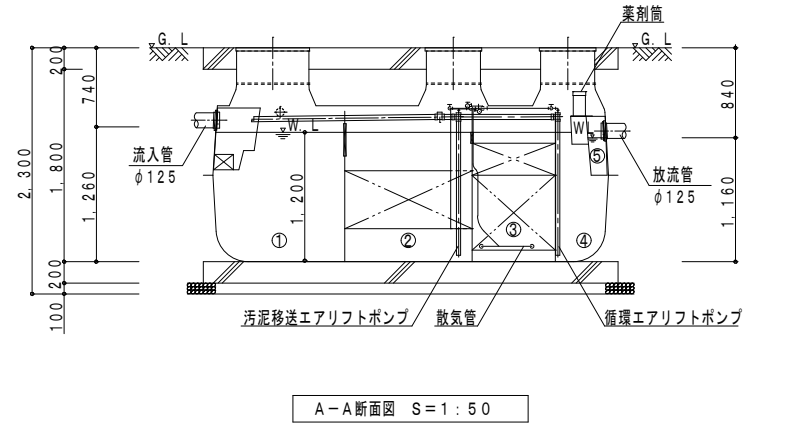
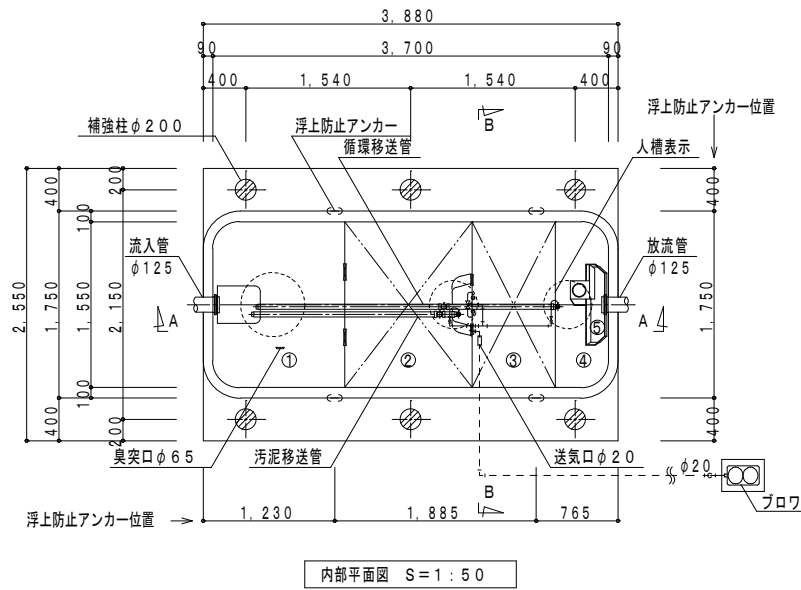
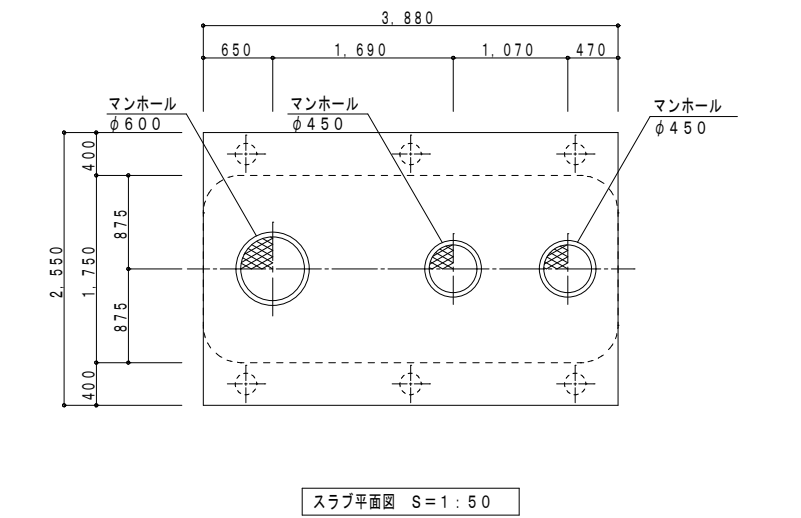
屋外（給水）	
地中埋設標 鉄タイプ	7

工事名	津野川若者住宅（第二）新築工事（機械設備工事）			設計年月日	益岡建築設計事務所	管理建築士 益岡雅充 事務所登録 第1245号 一級建築士 第237193号	図面名 衛生設備 1階平面詳細図	図面No. M-8
				完成年月日		担当者 益岡 雅充		
備考					住所 高知県四万十市小西ノ川165番地5号 TEL 0880-31-8522 FAX 0880-31-8666		縮尺 1:50	

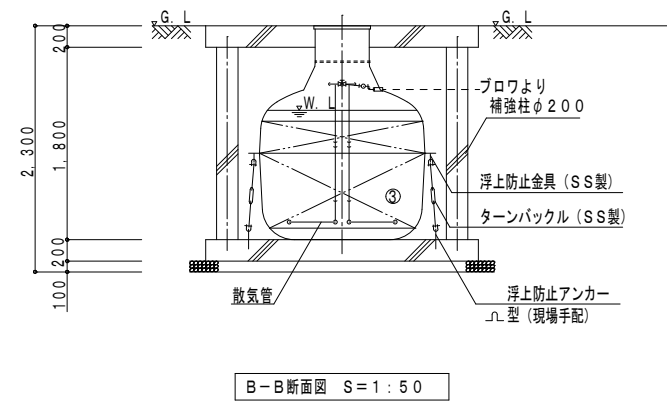


衛生設備 2階 平面詳細図 S=1:50

工事名	津野川若者住宅（第二）新築工事（機械設備工事）			設計 年 月 日	益岡建築設計事務所	管理建築士 益岡雅充 事務所登録 第1245号 一級建築士 第237193号	図面名 衛生設備 2階平面詳細図	図面 No. M - 9
				完成 年 月 日				
備考					住所 高知県四万十市小西ノ川165番地5号 TEL 0880-31-8522 FAX 0880-31-8666	担当者 益岡 雅充	縮尺 1:50	



注1) 丸形FRPマンホール（ボルトロック式）を採用する場合
アジャスターを介して蓋枠をセットしてください。
注2) アジャスターを採用する場合最低嵩上げは100mmとなります。
注3) アジャスタとPVC嵩上げを含めて300mm以内としてください。



仕 様 表					
処理方式	接触ろ床方式				
型式名称	フジクリーン CV-21 型 ※吊上目安重量：390kg				
処理対象人員	21人				
汚水量	4.20m3/d				
流入水質	BOD200mg/L	COD100mg/L	T-N 45mg/L	SS 160mg/L	
放流水質	BOD 20mg/L	COD 30mg/L	T-N 20mg/L	SS 15mg/L	
①	沈殿分離槽	有効容量	2.009	m3	
②	嫌気ろ床槽	有効容量	2.007	m3	
③	接触ろ床槽	有効容量	1.331	m3	
④	処理水槽	有効容量	0.698	m3	
⑤	消毒槽	有効容量	0.053	m3	
総容量		有効容量	6.098	m3	
機 器 装 置 仕 様					
ブロワ	吐出量	口 径	消費電力	運転方式	台数
	150L/min	φ20	100w	連続運転	1
槽本体	FRP				
パイプ類	PVC、PPまたはPE				
ろ材	PPまたはPE				
マンホール	FRP（1500K）				
消毒剤	固形塩素剤				

配管仕様	露出配管（ブロワ廻り）	VP
	土中配管	φ40以下～VP・φ50以上～VU
	槽内配管	メーカー仕様

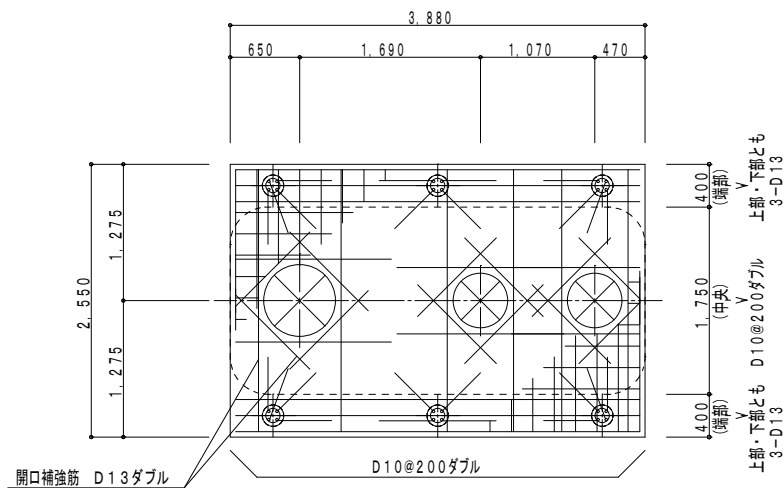
注1) 上部はT-6荷重とする。
注2) 機器電源は単相100V、総電力は91/100W（50/60Hz）、
一次側引込電気容量は15A以上とする。
注3) 図中の“G. L.”は浄化槽位置での仕上げレベルを示す。
注4) 浄化槽からブロワまでの距離は10m以内とする。
注5) 流入管・放流管工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
注6) 臭突管工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
注7) ブロワ付近にアース付きコンセント×1を設置のこと。設置は浄化槽工事範囲外とする。
注8) 地耐力は50KN/m2以上必要とする。（実際の工事業者が確認後施工の事）
注9) 岩掘削工事、杭工事、地盤改良工事、ウェルポイント工事は別途とする。

施工高さ範囲					
MH	項 目	嵩上げ高さ	流入管底	放流管底	施工全高
ボルト ロック	最小寸法	100H	G. L-560	G. L-660	2120H
	最大寸法	300H	G. L-760	G. L-860	2320H

注) 製品全高は、製品規格で+10mm、-20mmの公差があります。
流入・放流管底は、製品規格で製品全高に対し±10mmの公差があります。

合併処理浄化槽人員算定計算
類似別用途番号2 建築用途（住宅施設関係 □ 共同住宅）
人員：1戸当たり＝3.5人
処理対象人員：n＝P P：定員（人）
n＝3.5人×6戸21.0人 ∴21人槽とする

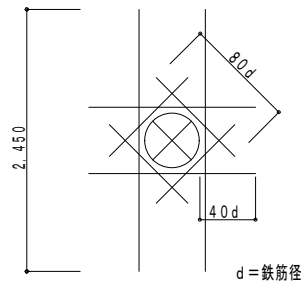
工事名	津野川若者住宅（第二）新築工事（機械設備工事）		設計年月日	益岡建築設計事務所 住所 高知県四万十市小西ノ川165番地5号 TEL 0880-31-8522 FAX 0880-31-8666	管理建築士 益岡雅充 事務所登録 第1245号 一級建築士 第237193号	図 面 名 衛生設備 合併処理浄化槽設備図,1	図 面 No. M - 10
備考			完成年月日		担当者 益岡 雅充		
						縮 尺 1:50	



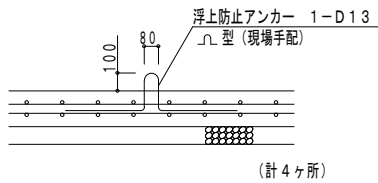
スラブ配筋図 S=1:50

一般事項	
コンクリート	Fc=21N/mm ²
鉄筋	SD295A
鉄筋かぶり	スラブ 40
	ベース 60
定着及継手	40d
地業	砕石又はRC 40~0

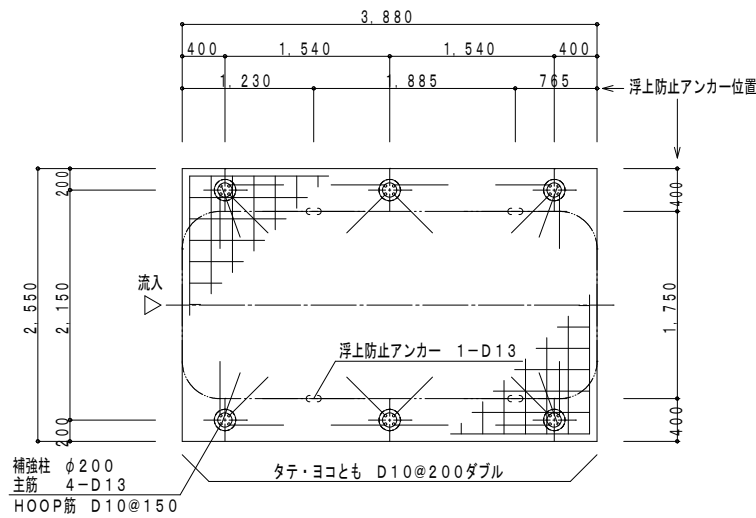
注1) 上部はT-6荷重とする。
注2) 図中の“G、L”は浄化槽位置での仕上りレベルを示す。
注3) 地耐力は50KN/m²以上必要とする。
(実際の工事業者が確認後施工の事)



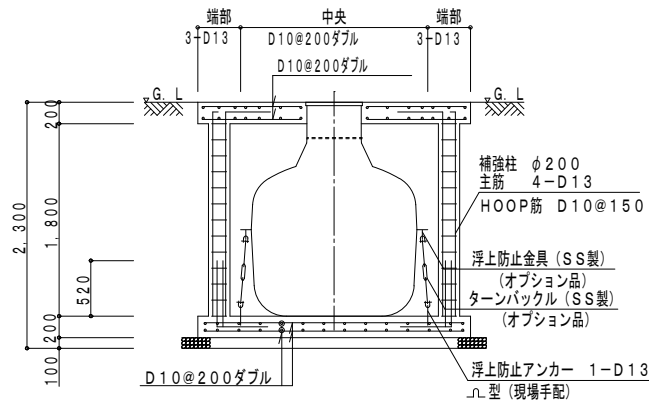
開口補強筋詳細図
(ダイヤモンド補強: D13ダブル)



浮上防止アンカー詳細図 S=1:30



ベース配筋図 S=1:50



断面配筋図 S=1:50

工事名	津野川若者住宅(第二)新築工事(機械設備工事)		設計年月日	益岡建築設計事務所 住所 高知県四万十市小西ノ川165番地5号 TEL 0880-31-8522 FAX 0880-31-8666	管理建築士 益岡雅充	図面名 衛生設備 合併処理浄化槽設備図.2	図面No. M-11
備考			完成年月日		事務所登録 第1245号 一級建築士 第237193号		
					担当者 益岡 雅充	縮尺 1:50	

